

～災害時の給水体制について～

令和5年12月14日（木）

訓練報告検証会

瀬戸市

飲料水用簡易給水槽の配備について

- ▶ 瀬戸市における南海トラフ地震の過去地震最大モデルの被害予想では、上水道断水人口は約64,000人、下水道機能支障人口は約55,000人となっており、復旧にも時間がかかることが想定されます。

これら被害対策の一つとして、令和4年度に地震時避難所となる中学校等の防災備蓄倉庫8か所に「簡易給水槽」を配備しました。また、令和5年12月下旬に小中学校の全防災備蓄倉庫27か所に配備します。

飲料水用簡易給水槽について

この簡易給水槽は、避難者や地域住民に対して生活用水を供給することを目的として地震時避難所に配備するものです。

各小中学校に併設されている防災備蓄倉庫に、容量1000ℓの給水槽を配備

※ 中学校、瀬戸SOLAN小、にじの丘学園は、収容人数想定に合わせて500ℓも配備

簡易給水槽の取説動画はこちら⇒



簡易給水槽の設置・給水訓練

日時: 令和5年6月28日(水) 13:30~

場所: 水無瀬中学校 柔剣道場裏

簡易給水層設置状況



給水車到着状況



飲料水用簡易給水槽

貯水量: 1000リットル

発: 市役所



給水池経由
(穴田、針原、南山口)



着: 水無瀬中学校

配管設置状況



配管設置状況



配管設置状況



給水車の能力

管口径: $\Phi 65\text{mm}$

貯水量: $1.8\text{t} = 1800\text{リットル}$

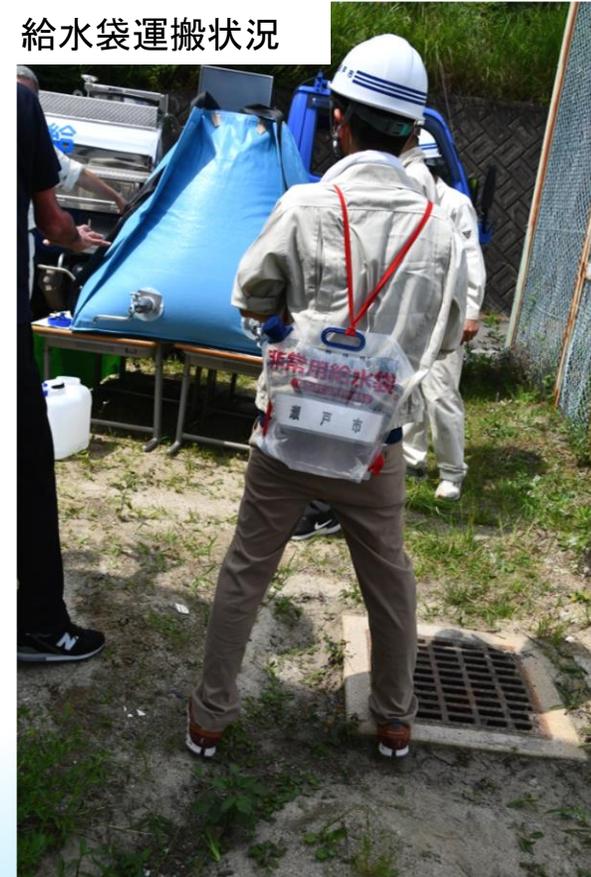
給水状況
(ポリタンク)



給水状況
(給水袋)



給水袋運搬状況



令和6年度の給水訓練スケジュール（案）について

5月中旬

自主防災リーダー研修会
(※研修内容として簡易給水槽の組立を実施)

11月17日（日）

瀬戸市総合防災訓練での給水訓練

訓練内容・スケジュールについては、令和6年度に改めてご案内します。